

## 事業仕分け外部評価会議 評価作業シートまとめ

事業番号	1-1	事業名	法外援護費
評価結果		主なコメント	
(1)不要(廃止)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども手当, 高校授業料無償化等とのバランスを考えると, これらで充分補てんされているのでは</li> </ul>	
(3)国・県・広域	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来, 全国一律のサービスであるべき</li> <li>・夏期, 冬期の需要は新潟市だけではない</li> </ul>	
(5)市実施(要改善)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期, 年末見舞金, 年末慰問品のねらい, 昭和30年代と現代の必要性について市の説明は不十分(説得性がない)</li> <li>・必要性は理解できるものの見直しの検討を(減額・廃止も含めて)</li> <li>・就学支援関係は現行どおりでもよいが高校進学祝金は減額検討を</li> <li>・夏期, 年末の特別消費需要の援助目的について金額の引き下げを希望する</li> <li>・就学支援の事業については子どもの未来にかかわる問題でもあり, 今のところ現状を維持しつつ, 見直す時期がきたら見直してほしい</li> <li>・税収が減る中で, 事業の重要性は分かりながらもシーリングをかける必要あり(年末や卒業, 進学などの機会での「心」の問題であるので最大限配慮すべき)</li> <li>・現金, 文具, 品物と3つの支給方法があるが整理する必要がある</li> <li>・見舞金, 慰問品は廃止すべき</li> </ul>	